

漁港は 魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

令和2年3月15日 発行 毎月 1回15日発行 編集兼発行人 公益社団法人 全国漁港漁場協会 橋本 牧 東京都港区赤坂1-9-13三会堂ビル8階 電話 東京(5114)9981 定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

水産庁 市町村支援策を近く公表

漁港漁場整備の実施をサポート

水産庁は、漁港管理者の対応等を適切に実施するに困難とし、さらには、技術系職員が減少するなかで、漁港整備の実施体制を整備する必要があると指摘し、昨年1月に行った。その結果、①漁港整備を担う市町村が全体の約半数に留まり、②技術系職員がわずか3割程度存在する深刻な実態が明らかとなった。

このため、水産庁は、漁港整備事業の実施体制が十分でない市町村が今後とも漁港整備事業を適切に実施できるように取り組むこととして、支援策の概要は次のとおり。

令和元年度 漁港漁場講習会開催



挨拶する橋本会長

(公社)全国漁港漁場協会が、令和2年2月26日(公休)午前10時から、東京都港区の石垣記念ホールにおいて、令和元年度漁港漁場講習会を開催した。

講習会には、令和2年2月26日(公休)午前10時から、東京都港区の石垣記念ホールにおいて、令和元年度漁港漁場講習会を開催した。また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。

また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。

また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。

また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。

また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。

また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。また、海水温の関係もあると思いますが、主に魚種の不漁が顕著になっています。

漁港整備事業の発注者自らが発注関係事務を適切に実施することが困難な場合、その事務を代行する発注者支援機関を認定する制度を創設する。

また、養殖業については、昨年7月から検査を進めています。養殖成長率の検査状況として説明させていただきます。

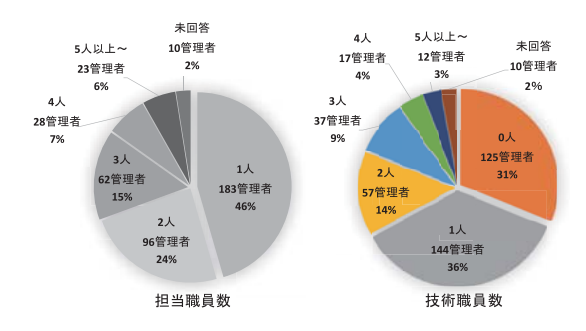
また、養殖業については、昨年7月から検査を進めています。養殖成長率の検査状況として説明させていただきます。

また、養殖業については、昨年7月から検査を進めています。養殖成長率の検査状況として説明させていただきます。

また、養殖業については、昨年7月から検査を進めています。養殖成長率の検査状況として説明させていただきます。

また、養殖業については、昨年7月から検査を進めています。養殖成長率の検査状況として説明させていただきます。

市町村で漁港漁場整備を担当する職員(管理職は除く)



新型コロナウイルス感染症が拡大

水産業への影響も懸念 昨年12月中国で発生した新型コロナウイルスは、今年1月16日に、韓国から我が国に感染が拡大していることが明らかになった。

国の輸入額は前年より16.6%減少し、輸出額は前年比0.8%減少した。横比でも、新型コロナウイルス感染症拡大により今後の貿易の影響を注視する必要がある。

# 漁港漁事務担当者連絡協議会を開催



漁港漁場協会事務担当者連絡協議会の様子

第61回漁港漁場協会事務担当者連絡協議会が、2月10日午後2時から東京霞が関の商工会館において、都道府県漁港漁場協会の役員等約60名が出席して開催された。

## 漁港漁場整備法成立70周年の節目

節目の年を迎える。今後、節目の年を迎える。今後の予算確保は大変厳しいことが想定されるが、必要予算を確保しながら、漁業者のニーズに応えていくことが必要である。

## 令和元年度 漁港漁場担当者(市町漁協)研修会

～和歌山県漁港漁場協会～

令和元年度補正予算、山本竜太郎計課課長から、「漁港漁場の活性化」の方向と題して講演が行われ、活発な意見交換が行われた。

和歌山県漁港漁場協会(会長・望月良男)は、2月5日(和歌山市)において、令和元年度和歌山県漁港漁場担当者(市町・漁業協同組合)研修会を開催した。

研修会では、和歌山県漁港漁場協会(会長・望月良男)と和歌山市漁港漁場関係担当者30名が参加した。

# ながさきSUISAN・ウインタースクール開催

(一社)長崎県漁港漁場協会は令和2年2月6日、「ながさきSUISAN・ウインタースクール」を長崎市内の長崎県庁会議室で開催した。

資源を育み、元気な水産業と漁村のさらけの創出に向けての新水産基本方針と漁港漁場整備長期計画並びに水産改革などの展開方向との連携とともに、新たな活路の発見・探求に寄与するために必要な最新情報などを提供し、本県水産業の発展と地域の活性化に資するため、「水産業の成長産業化に向けて」をテーマとして会員等関係者を対象に実施したもので83名が参加した。



ながさきSUISAN・ウインタースクールの様子

第1部「国の新年度概算予算と水産施策の推進」講師 高原裕一

第2部「機能的な取組の水産基盤づくり」講師 森健二

第3部「資源と漁場の環境を観て、獲って、売る」講師 青森県及び市町村の担当者対象に漁港漁場整備事業技術研修会を開催した。

和歌山県漁港漁場協会(会長・望月良男)は、2月5日(和歌山市)において、令和元年度和歌山県漁港漁場担当者(市町・漁業協同組合)研修会を開催した。

研修会では、和歌山県漁港漁場協会(会長・望月良男)と和歌山市漁港漁場関係担当者30名が参加した。

研修会では、和歌山県漁港漁場協会(会長・望月良男)と和歌山市漁港漁場関係担当者30名が参加した。

研修会では、和歌山県漁港漁場協会(会長・望月良男)と和歌山市漁港漁場関係担当者30名が参加した。

## 漁港往来

自2月1日 至2月20日

全国漁港漁場協会橋本会長、佐治漁務部長は右手県へ出張